

第6号様式（第14条関係）

2015年 4月 1日

新宿区長様

法人名 NPO 法人 ACT ART COM 実行委員会

所在地 新宿区大京町 12-9

（フリガナ） シタ ユスル

代表者氏名 理事長 式田 譲

㊞

協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第14条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 金 500.000 円

1 助成対象事業

事業名	Art & Design Fair (アートフェア)、ACT アート 大賞展	
事業種別	○既存事業 新規事業	
申請する助成の種類	○NPO活動資金助成 新事業立上げ助成	
過去に本助成を受けた実績	助成年度 (平成 25、26 年度) 事業名 (Art & Design Fair (アートフェア)、ACT アート 大賞展)	
この事業に対し他の助成の有無 (申請中のものを含む。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	有の場合は助成団体及び助成額 団体名： 助成額： 円
事業実施地域及び会場	アートコンプレックスセンター 東京都新宿区大京町 12-9	
スケジュール (実施期間等)	会場 アートコンプレックスセンター アートフェア・・・2015 年 6/16(火)～6/22(月) 6/16 (火) ～17 (水) 作品の搬入と展示 6/18 (木) ～21 (日) 展示会期 6/21 (日) ～22 (月) 搬出 参加予定人数 2,500 名 ACT アート大賞展・・・2016 年 1/5(火) ～1/9(土) 2015 年 12/24(木)～26(土)搬入 1/5(火)～1/9(土)展示会期 1/10(日)搬出 参加予定人数 500 名	
区民ニーズの把握状況 (それは、どのように把握したかを含む。)	昨年開催したアートフェアにて来場者アンケートを実施した。約 150 名の方からご回答を頂いた。その中で、「若手のサポートありがたいと思う」「もっともっと若手の作家さんを紹介して欲しかった」「今後も可能性のある作家さんの作品を展示して欲しい」「様々なジャンル、バックグラウンドを持つ作家さんと交流出来る素敵なイベントだった」などのお言葉を頂戴した。上記のようなご意見より、新宿区にはまだない「アートイベント」として、また、活動の目的 (多くの才能ある若いアーティスト達を広く世の中に紹介すること) に対してニーズがまだまだ高まっている状況にあると把握している。	
事業の対象者	主に現代アートを制作している区民、全国のアーティスト。(特に若手アーティスト) 来場者は主に地域住民、アート関係者等。	
活動内容 ※必要に応じて、図表、 地図、イラスト、写真 等を添付し、又は印刷 物等の資料を提出して	・アートフェア 現在、新宿区では、若手アーティストを対象としたアートフェアはない為、アートコンプレックスセンター全館を使い、アーティストの作品発表と販売の場を提供する。地域の方々や企業の方々との交流を深め、多くの才能あるアーティスト達を世の中に広く紹介することを目的とする。参加規模述べ 2,500 名予定。 アートフェアの期間中は作家が 50～100 名在廊する為、一般来場者は、作家とのふれあいや、作品の説明を直接聞けるチャンスがある。	

<p>いただいても結構です。</p> <p>活動内容 (続き)</p>	<p>このような機会を提供することによって、よりアートに対する親近感を高めて頂けるようになっている。</p> <p>*新しい試み</p> <p>より多くの交流の場を増やす為、今年度は新しい展示やワークショップの新設にチャレンジする。</p> <p>① 「ワークショップ」は昨年はモール人形作りを開催した。参加者からは「実際に作品を作る先生を近くで見られて良かった。」 「親子の絆が深まった」などたくさんの素敵なお意見を頂戴した。とにかく笑顔がいっぱいで、大好評だった。今年度は引き続きモール人形作りに加え、ステンシル、青写真体験を加えてより多くの方々に楽しんでもらえる形を予定している。</p> <p>※ワークショップ詳細は別紙参照</p> <p>② 「地下スペース」は昨年に引き続き、25歳以下のアーティスト限定の展示スペースに加え、女性を主題として制作している若手アーティストのためのスペースを設け、女性を描くことが主流となっている現代美術の中で、現代的な問題意識やモチーフをテーマに持っている若手作家に対する支援を目指す。</p> <p>③ 「留学生のスペース」留学生中心のスペースを作り、新宿区に美術系の学校が少ない分、地域の方々に美大生に気軽に親んでもらえる機会を増やしたり、日本人の作家も外国人アーティストとの交流で新たな発見や感性の刺激になる事を期待している。</p> <p>・ACTアート大賞展</p> <p>地域や全国で美術を志す若いアーティストに発表の場を提供すると同時に、作品を対外的に発表するという経験を積んでもらう。さらには、美術大学の教授や著名な美術作家・アート関係者等、第三者の方による審査、講評をしていただく機会を作ることによって若いアーティストの育成を促す。最優秀賞に選ばれた作家は賞を受け、更なる美術追求を目的にサポートを受けることが出来る。作品は100点を超える大型サイズの力作が揃う。参加規模述べ500名予定。</p> <p>※「ACTアート大賞展」について</p> <p>この事業は、アートコンプレックス・センター（開催会場）の運営会社である有限会社オフィスジェイワンの共催事業として開催する。経費負担について、当団体は、広告掲載費・審査員謝礼・優勝者賞金（助成対象外事業費に計上）等を負担し、会場使用料・会場設営費などその他全ての経費については、運営会社である有限会社オフィスジェイワンが負担する。そのため、アート大賞展の出展費については、有限会社オフィスジェイワンに帰属するものとしている。</p> <p>昨年の様子や使用施設のパンフレットなどを別途添付。</p>
<p>地域の人たちの事業へのかかわり方</p> <p>(ボランティアとして参加する等、どのように地域の人がこの事業に参画することができるかを記</p>	<p>アートフェアやACTアート大賞展では、展示会場にご来場いただくだけではなく、地域住民の方々や主に美術系専門学校等の学生を中心にボランティアとしても参加して頂きたい。平成26年度事業では、15名がボランティアとして参加して下さった。</p> <p>具体的な作業としては、受付・案内・展示・接客・搬入出等のお手</p>

<p>入してください。)</p>	<p>伝いをして頂く。アートイベントを支え、一緒に作っていくことにより、より強くアートに対する興味を持って頂きたい。 実際昨年のボランティアさんの中で、継続してボランティアとしてサポートして下さっている方々もいらっしゃる。</p>
<p>実行体制 (必要とされる人員とその確保のめど、必要な設備等)</p>	<p>運営スタッフ 6名・ボランティア 15名 必要な設備等 ブースパーテーション・照明・出展者ネームプレート・音響他</p>
<p>期待される成果</p>	<p>区民や地域にもたらす具体的効果</p> <ul style="list-style-type: none"> アートフェア、ACTアート大賞展は若手アーティストの育成を目的とすると同時に、地域住民・区民の皆様によりアートに親しんでいただけるようなイベントとなっている。従来ギャラリーは、「声を掛けられたら困る」、「作品の買い方や価格がわかりにくい」といったイメージがあり入りづらくまた、敷居が高く親しみにくい印象があった。しかし、アートイベントを通して作家と直接触れ合うことにより、芸術文化に対する親近感が増すとともに将来的には地域に根付くイベントとして気軽に訪れアートを楽しむことが出来るようになるを考える。 新宿区の各施設や町内会にお願いして、イベントのDMやチラシを設置して頂き、それを見て下さった地域住民の方々がアートフェアに来場して、作品を買うこと、飾ること、アーティストと触れ合うことが身近に感じられるようになる。 アートへの親近感が増すことによって区民の方が文化・芸術活動へ積極的に、また気軽に参加しやすくなるだろう。ひいては、他のアート系の公募展、グループ展、企画展、フリーマーケットに波及し、新宿区地域全体のアート施設が認知され、各種イベントの動員につながる。 <p>申請事業を実施することによる貴団体の活動への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体が本来持つ、若い世代のアーティストへの支援活動が周知・理解されることにより、多くの方からアーティストに対してご支援いただけるようになり、より多くの若手アーティストの育成が可能になる。 地域の方を中心に多くの方が入りやすい施設を作ることにより、幅広い世代の方々とアーティストやアート関係者とのコミュニケーションを促進する事が出来る。それにより作品や作家に対する理解を深めることが出来、多くの方がアートを気軽に楽しむようになり、結果としてアート市場の拡大につながる。 地域の方々と結びつきが強くなることで、ギャラリーへの敷居が低くなり、ふれあいが多くなる。アーティスト自身の活動も団体の活動もより活発になることが期待できる。
<p>貴団体の経営基盤強化に向けた取り組みと今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> アートフェアの参加人数、ジャンル、会員（サポーター）の増員に取り組む。良質な公募サイトにイベントの募集を掲載することで、参加人数やジャンルを増やすことを努力している。会員は現在14名の方がサポーターとして在籍して下さっている。 地域の方々に対しては、アートの楽しみ方はより身近なものだとのチラシ等でアピールする。アートコレクターや企業に対しては作家がプレゼンテーションを積極的に行うことが出来るようなコ

	<p>ンペなど企画し、環境を整える。それによって、若いアーティストの制作意欲を上げられるようにすると同時に、制作のモチベーションを維持していけるようサポートする。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 広報活動を拡大し、集客力を上げ、区民・地域密着型のイベントとして成長させる。・ 関わったアーティストにはイベントが終わってもコンタクトをとり、その活躍がアート関係者に伝わるようなパイプ役となれるように努力したい。そのことで、アーティストへのサポートも強化し、アーティストの発表の場を広げることにつなげたい。
--	--

2 助成対象事業費内訳（積算根拠）

※協働推進基金助成金は、助成申請額を入れて積算して下さい。

※入場料又は会費を徴収して行うイベント、公演等は、必ず単価を入れてください。

(G)

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			64,462 円
	参加費・資料代等	アートフェア（6月開催分）出展費 展示する部屋によって金額が異なる。 43,200 円×20 人=864,000 円 32,400 円×7 人=226,800 円 21,600 円×25 人=540,000 円 グループ出展（2 団体）200,000 円×2 団体=400,000 円 ワークショップ 3 回分合計参加費=70,000 円 （ワークショップ内訳） モール人形作り 1,500 円×20 人=30,000 円 ステンシル 1,000 円×20 人=20,000 円 青写真体験 2,500 円×8 人=20,000 円		2,100,800 円
	その他の収入	出展者作品売上の販売手数料（販売価格の 20%） 昨年の販売実績は約 1,148,000 円		220,000 円
	協働推進基金助成金	助成希望額		500,000 円
	計			2,885,262 円
	支出 （助成の対象になる事業費の内訳）	費目	予算額	内訳
会議費		1,050,000 円	アートコンプレックスセンター会場使用料（アートフェア） 2 階 550,000 円・地下 500,000 円（見積書添付） 上記金額は会場のご協力により、通常価格より安く設定して頂く。	
宣伝費	409,560 円	ACT アート大賞展 広告掲載費（若手アーティスト向け WEB サイト、 メールマガジン新着おすすめ枠掲載）324,000 円（掲載回数 1 回） （見積書添付） アートフェア カタログ印刷（B5 32 ページ両面 4 色 中綴じ製本）300 部 78,800 円（見積書添付） 屋外用看板（A1 モノクロ 1 枚 ラミネート）4,060 円（見積書添付） ポスター（A2 ポスター 2 部、光沢紙）2,700 円（見積書添付）		

	リース費	0円	
	消耗品費	58,318円	巻き段ボール 1,877円×1個=1,877円 A4コピー用紙 1,320円×2冊=2,640円 A4プリンタラベル 3,140円×1冊=3,140円 インク 3,785円×4個=15,140円 A3光沢紙 897円×3冊=2,691円 養生テープ 1,245円×3セット=3,735円 布テープ 921円×2セット=1,842円 マスキングテープ 353×1個=353円 雑巾 298円×1パック=298円 ハンドソープ 198円×4個=792円 手提げ袋 975円×1パック=975円 丸抜きポリ袋Mサイズ 338円×2パック=676円 丸抜きポリ袋Sサイズ 306円×5パック=1,530円 ボールペン 717円×1箱=717円 蚊取線香 398円×1箱=398円 アルコールスプレー 198円×2個=396円 ナプキン 205円×4個=820円・紙皿 185円×5個=925円 プラスティックプレート 380円×7個=2,660円 館内見取り図印刷費 A3 両面モノクロ 700部 8,170円(見積書添付) 名札用バッジ(見積書添付) 8,543円
	謝礼	186,000円	アートフェア ボランティア謝礼 @3,000円×述べ32名=96,000円 ワークショップ講師謝礼 @20,000円×2人=40,000円 ACTアート大賞展 審査員謝礼 @10,000円×5人=50,000円
	人件費	124,000円	4,000円×述べ31名=124,000円(アートフェア開催期間)
	材料費	30,000円	ワークショップ材料費(モール、本皮、インク、額、用紙等)
	交通費	0円	
	その他諸経費	605,384円	郵便代 82円×30通=2,460円・ゴミ処理券3冊=9,300円 会場設営費 591,624円(見積書添付) 領収書用印紙 200円×10枚=2,000円
	助成対象事業費(小計)	2,463,262円	
	助成対象外事業費	422,000円	アートフェア ボランティア・スタッフ弁当代@650円×60個=39,000円 レセプションパーティー代 130,000円 人件費(1日1人4,000円を超える分)93,000円 人件費内部講師分 20,000円 大賞展 ACTアート大賞展優秀者賞金 100,000円 ACTアート大賞展審査員食事代 10,000円 音響機器リース代 30,000円
	事業総額		2,885,262円

3 その他

助成金申請額を減額して助成金の交付決定をした場合、助成対象事業の遂行は可能ですか。

(○はい ・ いいえ)

助成対象経費

下記項目以外の経費（飲食費等）は、対象といたしません。

項目	経費の種類
①会議費	打合せ、会議資料コピー代、会場使用料等
②宣伝費	チラシ、ポスター等作成費
③リース費	事業に直接必要な機器の賃借料
④消耗品費	事務用品の購入費
⑤謝礼	講師、協力団体等への謝礼（1時間当たり1万円を限度とし、1日当たり3万円を限度とする。）
⑥人件費	事業実施に直接関る事業主体の人件費として時間単価1,000円、1日あたり1人4,000円を上限として、かつ助成対象事業費の20%以内
⑦材料費	事業に直接必要な材料の購入費
⑧交通費	公共交通機関の交通費、講師との事前打合せのための交通費等（タクシー代は除く。）
⑨その他諸経費	損害保険料、郵送料等（チャリティ募金、寄附金等は除く。）